

卒業 3月19日(火)に、木次小学校の卒業式が執り行われ、50名の卒業生が巣立っていきました。

中学生になってもいろいろなことに挑戦し、部活に勉強にと、楽しく充実した学校生活を送ってほしいと思います。また、今年も卒業生が交流センターに『地域の皆さんへ』とお礼のメッセージをくれました。ありがとうございました。またいつでも遊びに来てくださいね(*^_^*)



卒業おめでとう!



下2自治会の堀江さんより、ボケの花を玄関ホールに飾っていただきました。白くてとても愛らしい花がたくさん咲いています。みなさんぜひ見にお越しください♪



『配食サービス』ボランティア募集のご案内

ふれあい会では、見守り活動の事業の一つとして、社会福祉協議会と協力し配食サービスを行っています。

毎週、月曜日～金曜日(祝日はお休み)の間に利用者様のお宅にお弁当を届けていただけるボランティアを募集します。

興味のある方・ご希望の方は、交流センターまでお知らせください。ご応募お待ちしております。

くまたん見守り隊ボランティア募集のご案内

ふれあい会では、木次小学校児童の下校時における見守り活動をしていただくボランティアを募集しています。

この見守り活動は、一人ひとりが無理なく出来る範囲で取り組む活動です。見守りをする場所は、ボランティアの方が自ら活動しやすい場所を選んでおこなっていただきます。

詳細については、交流センターまでお問い合わせください。



下熊谷ふれあい会
公式アカウント
友だち登録をお願いします

各種イベントの紹介や
地域の情報などをお届けします
QRコードを読み取ってください

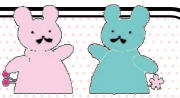


| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|---------------------|---------------------|-----|---------------------------|--------------------|-----------|
| 3/31 | 1 | 2 | 3 | 4 うんなん幸雲体操 (10:00) | 5 | 6 |
| 7 | 8 始業式 (木次小・中) | 9 入学式 (木次小・中) | 10 | 11 うんなん幸雲体操 (10:00) | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 うんなん幸雲体操 (10:00) | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 うんなん幸雲体操 (10:00) | 26 うたの会 (10:00) | 27 |
| 28 | 29 昭和の日 | 30 | 5/1 | 5/2 | 5/3 憲法記念日 | 5/4 みどりの日 |

*青字…ふれあい会の行事 *赤字…学校関係の行事

令和6年3月 **かわら版** 第163号

発行：下熊谷ふれあい会 下熊谷交流センター内 〒699-1333 雲南市木次町下熊谷1096-1 TEL：FAX (0854) 42-5351



会長挨拶

下熊谷ふれあい会会長 小川 馨

暑さ寒さも彼岸までと申します、春の日差しも日に日に心地よくなって参り皆様におかれましても益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度一期2年の任期満了を持ちまして下熊谷ふれあい会の会長を辞する事になりました。

思えば、平成21年から教育文化部の部員となり副部長を3年、その後昨年度までの9年間部長を引き受けさせていただきましたが、教育文化部の最終年は会長職を兼ねる事になり組織改革に向けて難しい舵取りとなりました。しかしながら各部の部長・副部長をはじめ職員や地域の皆様に支えられ、決して満足のいく務めではなかったものの次へつなげる足掛かりは出来たのではないかと考えています。

今年度からスタートした組織改革による部の再編も各自治会からご推薦いただいた部員さんをはじめ、慣れない部長・副部長を受けられた方々もしっかりとその任を務められ、当初多少なり不安を感じていたものの積極的な取り組みの下で無事に事業を遂行していただいた事に感謝申し上げます。

ただ、昨年12月に長年ご尽力を頂いた小田川前事務局長さんがお亡くなりになられた事は、非常に心の痛む残念な出来事であり、改めてご冥福をお祈りいたします。

来年度は新たな会長・副会長及び事務局長を迎え、一年延期していた地域5ヶ年計画も初年度がスタートしますので、益々目が離せないnewふれあい会に期待しつつ地域と共に益々の発展と拡大に向けて歩みを進めて頂きたいと思っております。私も今後は一自治会員として微力ながら力添えが出来ればと思っております。

ここまで支えていただきました事に改めて感謝申し上げますと共に、皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念し退任の挨拶とさせていただきます。

『下熊谷ふれあいの郷づくり計画』(2024年～2028年)発行にあたって

下熊谷ふれあい会会長 小川 馨

春光の候、みなさま方には益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。

さて、この度令和6年度からの事業の柱となる地域5ヶ年計画をリーフレットにして下熊谷全世帯の皆様にお配りする事となりました。

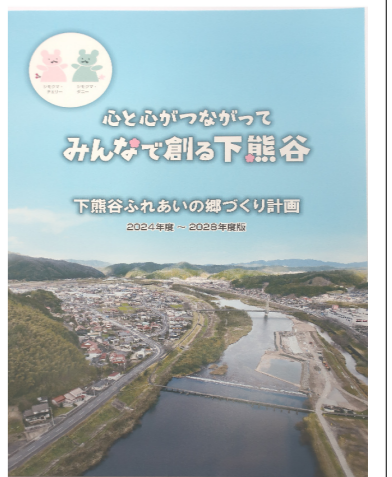
下熊谷ふれあい会は、下熊谷地区住民の連携をはかり、地域課題を自ら解決して住み良いまちづくりをめざす事を目的に平成19年3月に地域自主組織「下熊谷ふれあい会」が発足しました。平成30年より令和4年に『下熊谷ふれあいの郷づくり計画』、心のつながりを大切に困った時はお互い様の気持ちで、老若男女が生活に喜びを感じ、健康で元気に生活できる地域を目指す事を基本理念に実施してまいりました。

本来ならば、令和5年4月より5ヶ年計画の見直しをする予定ではありましたが、事業のマンネリ化、役員の成り手不足および後継者不足、若者の参画が少ない等の要因から、今後の地域活動を推し進めるため、専門部の改変を行ない、「下熊谷ふれあいの郷づくり計画」を1年延期させていただきました。

今般、基本理念は維持しつつ3つの柱、「援」を新しく「絆」みんなであつなぐ(多世代交流、地域ぐるみで高齢者の見守り、地域ぐるみで子育て)とし、「守」みんなの命と環境を守る(防災・防犯の強化、より良い環境づくり)、「楽」みんなで楽しむ(楽しみながらの健康づくり、生涯学習の推進)を掲げて2024年(令和6年)から5年間2028年(令和10年)まで計画しました。

計画作成にあたり、田中利幸副会長・山根好博副会長・田中節子副会長、そしてセンター職員の協力もとに発行することができました。なお、リーフレット表紙及び裏表紙の下熊谷上空写真を下4自治会の梅良明さんにドローンで撮影にご協力いただきました。

今後5年間『下熊谷ふれあいの郷づくり計画』のもと、“心と心がつながってみんなで創る下熊谷”を目指していきたく思います。できれば、食卓の片隅にこのリーフレットを置いていただけたら嬉しく思います。



防災環境部

部長
小川 裕司

今年度より新たに防災環境部としてスタートいたしました。防災環境部の事業としましては、三つのテーマがありました。

一つ目が平常時の防災に関することで、7月の安否確認訓練に併せ避難所開設訓練として間仕切りの設置や非常用トイレの組立、簡易テントの設置などを行いました。

1月の地域交流部による餅つき大会には、防災環境部として、「ちーむあそぼうさい」の方を講師に非常時に役立つ紙皿や紙はし作りを行いました。子どもから大人までの皆様に防災について考えていただく良い機会になったと思います。

二つ目が安全・安心に関することで、5月と9月のグラウンドゴルフ大会の集計時間を利用して、水消火器を使用した消火訓練を実施し、10月のふれあい祭りでは、水消火器でペットボトルを倒すゲームを「ちーむあそぼうさい」と協力して実施しました。

また、1月の餅つき大会では、救急救命士の方を講師に餅がのどに詰まった時の応急手当などを教わり、いざという時皆様にとっての安全・安心についてお役立ちできることをお伝えできたのではないかと思います。

三つ目が環境に関することで、2月に環境講座と

して、水道局下水道課の方を講師に水循環の大切さ「下水道のはなし」を実施しました。水は循環するものであり、綺麗な水を利用するためには下水道は大変重要であることが皆様と学ぶことができ、大変有意義であったと思います。今回は座学のみでした、実際に下水道施設を見学させていただき、より水循環の意識を高めるのも良いのではないかと思います。

地域の皆様、ふれあい会各部・事務局の皆様、防災環境部の皆さん、ご協力いただきました全ての皆様のおかげさまで、今年度の防災環境部の事業を無事に行うことができました。深く感謝申し上げます。来年度の防災環境部の事業に対しましても、引き続き皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



福祉部

部長
小川 孝

長いコロナからの縛りから解放された始まった令和5年度でしたが、振り返りますともものすごく充実し発展のあった一年間であったと感じます。

福祉部では、日頃からお年寄りの方とのコミュニケーションをとることにより見守り活動を行ってきました。

年間の大きな行事にふれあい敬老会があります。敬老会に向けては、何ヵ月も前から部員各々アイデアを持ち寄りいかに当日の会を参加者のみなさんに喜んで頂けるのかを話し合いました。今年度は一部構成でしたが、会もスムーズに進み参加された方には喜んで帰って頂けたと思います。

また、今年初の試みのふれあい祭りでは、各部との話し合いも夜遅くまで何度もありましたが、結果大成功でした。福祉部としても色々アイデアを出したり大変だったと思いますが、美味しいおでんでたくさんの皆様に喜んで頂けたかと思えます。

子育て支援事業として2年目を迎えた『くまっ子ベビーの部屋』。毎回少人数ではありましたが、参加されたお母さんお子さんにはお友達の輪が広がったのではないのでしょうか。

そして、一年の活動の中で私が一番嬉しかったのは、サロン活動が前に進みはじめたことです。5月に社協の力石先生からワークショップでお話頂いたサロン活動が、下熊谷の方に浸透しはじめています。サロン活動は、来年度はもっとたくさんの方々が参加したくなるような形になるはずです。

令和6年度も福祉部の活動にたくさんの皆様にご参加頂けます様頑張りますので、よろしくお願いいたします。



健康推進部

部長
小川 和行

健康推進部の部長を引き受けて無事に1年が終わりとしています。初めての役員ということで最初は解らないことも多く、不安でしたが、皆様のご協力のおかげで何とかやり遂げることができました。

今年度はウィズコロナへ舵を切中、各種行事も徐々に復活してまいりました。

まず、恒例となりましたグラウンドゴルフ大会を春と秋に開催しました。

グラウンドゴルフは毎回多くの参加者が有り、メインイベントでもあることから今後も継続して開催したいと思っておりますので、ご参加をお待ちしております。

そして、6月には廃線危惧のある木次線を応援しようと『木次線応援ウォーキング』を開催しました。木次駅から南大東駅まで汽車に乗り、南大東駅から交流センターまでの約4.0kmをウォーキングしました。普段は車でしか通らない見慣れた風景でしたが、新鮮な景色となり快適に歩くことができました。

さらに、10月には5年振りとなるふれあい祭が通常開催され『射的ゲーム』『スーパーボールすくい』などを出店し、準備や後片付けは大わらわでしたが部員の結束も深まり、また、地域における人と人との連携が希薄な昨今、ふれあい祭はその隙間を埋める良い機会になったと思います。

年明けて1月には三刀屋アスパルにて『ユニバーサルスポーツ』と称されるカローリングとボッチャの2種目を体験しました。雲南市スポーツ推進員の妹尾幸二さんからの指導を受けながらチーム対抗戦で白熱した戦いとなりました。初めは体験したことのない人がほとんどでしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。

最後となりましたが、1年間役員もやってみなければ解らない大変さ、また、やってみて解る楽しさも経験することができました。新年度は新体制での健康推進部となりますが、今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



地域交流部

部長
田中 あい

教育文化部から新たに地域交流部としてスタートしました。コロナも5類に移行されたので、3年間できなかった事業を再び取り入れ、内容を見直し、実行す

ることができました。

大きく変わったのは、「ふれあい文化祭」を止め新たな事業として「ふれあい祭り」を実行したことです。この祭りで歌の会「このゆびと〜まれ」による下熊谷オリジナルソング「続く歌」の披露もできました。いろいろ反省点はあるものの、第1回目にしては大成功だったと思います。

夏の交流センター子ども週間「そうめん流し」も「今年はそうめんを流して食べよう!!」と取り組みその甲斐もあり、子どもたちの満面の笑顔を見ることができました。

昨年度は集団コロナ感染により中止になったクリスマス会も、「子ども会」さんと協力し合い行うことができました。

1月に行った餅つき大会は、防災環境部とタイアップし開催しました。「ちーむあそぼうさい」の方に来ていただき、食器がない時には新聞紙で皿と箸を作る方法も教わり、その皿と箸で餅を食べました。また、救急救命士の方に餅が喉に詰まった時の対処法を習いました。

こちら初めの2部合同での取り組みでしたが、たくさんの方に参加いただき学びながらの楽しい時間を過ごせたのではと思っています。

地域の皆さまにより良い交流がもてるよう取り組んで参りますので、これからもご協力をお願いいたします。

